

## 「協働」「マネジメント」について

今号では「協働」と「マネジメント」について学校の具体的な実践も交えながら紹介します。

「協働」とは、目的を達成するために、目標に向かって複数の人々や組織が対等な関係で力を合わせて協力しながら働くことを意味します。コミュニケーション・スキルで言えば、学校の教育目標の具現化(学校課題の解決)や地域課題の解決に向けて、学校・家庭・地域が対等な関係で力を合わせて協力しながら働くことです。

具体的な取組として、雄勝小学校と皆瀬小学校の実践を紹介します。

### 雄勝小学校の実践

雄勝小学校では、校内外で挨拶ができる子どもを育てる一環として、「eyeさつ運動」(ちゃんと目を見てあいさつしましょう)を実施しています。この活動は、毎週月曜日に学校の職員、学校運営協議会委員、民生児童委員、青少年育成湯沢市民会議雄勝支部委員などが通学



路に立って、協働で登校する子どもたちを見守ることと併せて、挨拶運動をしています。この取組を通して、次のような成果が現れています。

- 朝から学校に活気をもたらし、みんな元気に一日をスタートさせている。
- 人と人とのつながりを深め、信頼関係を築いている。

### 皆瀬小学校の実践

皆瀬小学校では、第二回学校運営協議会において、学校課題の解決に向けた話合いの中で、「危険箇所マップの更新」について話し合いました。

- ・これまでの危険箇所マップのようにイラストマップが見やすくてよいと思う。

- ・湯沢市で作成しているハザードマップを参考にできないか。
- ・子どもたちが安全に対する必要感をもつことが大切である。「私たちにとって必要なものだから、地域の方々にも手伝ってもらいたい。」という子どもの声が必要ではないか。
- ・などの意見が出されました。

学校ではこの話合いを受けて、一学期末に行った地区児童会で、自分が住んでいる地域の危険箇所を自分事として捉えさせるために、自分たちの地区の危険箇所マップを再確認して修正する作業を行いました。この後、それを地区の方々の協力を得ながら更新して活用していく計画です。

「マネジメント」とは、組織の成果を上げるために経営資源（ヒト、モノ、カネ）を有効に活用してリスク管理のもとに、「目標」や「ミッション」の達成を目指すことです。コミュニティ・スクールで言えば、校長先生や学校運営協議会会長が、熟議や協働活動を行ったりして学校の教育目標を具現化（学校課題の解決）したり、地域の課題を解決したりすることです。

具体的な取組として、湯沢南中学校の実践を紹介します。

## 湯沢南中学校の実践

湯沢南中学校では、校長先生が学校運営協議会に期待することの一つに、「地域との『交流』『連携・協働』の持続可能なサイクルを構築すること」を挙げています。そして、そのことを実現するために次のような活動を行って成果を上げています。

○ 昼の放送で生徒に三関大運動会への参加を呼び掛けたところ、三関地区以外の生徒も多数参加し、運動会が例年以上に盛り上がった。

○ 三関地区と須川地区の地域住民でつくる任意団体（環東鳥海山活性化プロジェクト）と湯沢南中の家庭部が連携して、地元産の食材を使ったピザづくりに取り組み、八月に行われた両地区のお祭りで提供して好評を得た。

○ 合唱部と吹奏楽部が毎月交互に愛宕荘を訪問し、歌と楽器の演奏を行って交流して



いる。訪問する生徒も訪問を受ける入所者も次回の交流をととも楽しみにしている。

いずれも「地域とともにある学校づくり」の具体が示されています。そして、いずれも学校が目指す「自己を理解し、自分と地域や社会をつなぎ、未来を拓く生徒」の実現に直結する活動であり、併せて地域の活性化に結び付く活動です。このような活動を継続して行い、学校と地域がウィンウィンの関係で「交流」「連携・協働」の持続可能なサイクルが構築されていくことを期待しています。

## お知らせとお願い

### CS研修会

日時 令和六年十一月一日（金）

午後二時十分～

テーマ 「みんなで進めよう

コミュニティ・スクール」

内容 ○山田小・中学校の実践発表

○熟議



## お願い

熟議は、一グループ六名で、CSについてそれぞれの学校の実践を紹介しあう内容を計画しています。そこで、自校のCSはどんな取組をしているか（学校運営協議会ではこんな協議・活動をしている。熟議は、このように行っている。協働活動としては、こんな取組をしているなど。）事前に把握して熟議に参加してくださいようお願いいたします。